



運動会での連帯感と安全指導への意識

～笑顔あふれる楽しい学校～ 校長 山中栄治



6月1日(土)、第66回運動会を無事に終了することができました。熱いご声援をいただきました来賓・保護者・地域の皆様にお礼申し上げます。

また、PTAの皆様には、来賓の接待や見回りなどにご協力いただき、ありがとうございました。

さて、運動会でのスローガンは「情熱だ！ 闘魂だ！ 気合いだ！」でした。運動会実行委員長の全校練習や開会式での言葉などから運動会に懸ける熱き思いが伝わってきました。

中学校生活最後の運動会となる3年生の活躍ぶりはさすがでした。その姿は下級生の良き手本となっており、小金井二中の底力の源は3年生にあることを実感しました。各学年の種目では、各学級が作戦を練り、朝・学年練習を重ねてきた成果を発揮しました。また、運動会に向けて各クラスで学級旗を作成しました。学級の中で原案を描き、美術科の先生の指導の下、学級の思いを込めた素晴らしい出来栄でした。運動会当日は、運動が好きな人も、苦手な人も練習の過程で様々なドラマがあり、どの演技も競技も応援も全校生徒のやる気と団結力を感じることができました。当日の姿を作り出した気持ちを忘れずに、これからも充実した学校生活を過ごして欲しいと願っています。

【巨大地震に備えて】

6月18日大阪府北部を震源として最大震度6弱の地震が発生し、倒れたブロック塀の下敷きで女児が亡くなるなどの被害から1年を迎えました。その同じ日に山形県沖を震源とする地震があり、新潟県の村上市では震度6強を観測しました。大規模災害時の応急対策

活動の中で、特に重要なものの一つに避難所運営があります。今月中旬に小金井消防署の方から避難所運営(HUG)に関わる研修を受けてきました。

HUGは、避難者の年齢や性別、国籍など避難者が抱える諸事情が書かれたカードを避難場所である学校の体育館・教室・校庭が描かれた平面図に適切に配置したり、様々な出来事や要望に対応したりすることを模擬体験することができるものです。避難所の運営については、市町村職員が運営の中心になることもありますが、阪神淡路大震災以降は、地域住民や避難者を主体とした避難所運営を目指すところも増えています。東日本大震災の時も中学生がお年寄りや幼児の避難を助けたことや避難所で物資の配給や清掃当番の仕事で活躍する場面が報道されました。

この研修を通して、学校は、生徒と教職員の安全確保、近隣住民や帰宅困難者のための避難所、避難していない自宅避難者も含めた生活支援の拠点の役割があることや避難所として指定されてはいるものの、学校は教育のための場であり、普段の生活の場として考えられてはいることなどを再認識しました。

地震などの自然災害は、いつ、どこで起こるかわかりません。実際に地震が起きたら、甚大な被害になります。授業中であったり、登下校の最中だったりと、考え出したら尽きることがありません。防災と安全への意識を高めるために避難訓練や安全指導を実施しています。7月19日(金)、大震災を想定した引き取り訓練を行います。また、都から「東京防災」が各家庭に配布されています。是非、日頃から手元に置いて御活用ください。



『勝ち負けの先にあるもの』 3年1組 運動会実行委員

運動会実行委員、それは責任があり多くの仕事を任せられる重要な係ですが、先生方やクラスメイトから信頼され達成感のある係でもあります。1、2年生の経験を活かそうと思い、今年で3年目の運動会実行委員になりました。



毎年同じように最初は全くまとまりませんでした。指示がうまく伝わらなかったり、伝わっていてもみんなを動かすことはできません。たくさんの意見がでて出て整理するのに放課後残ったり、集中しすぎて最終下校を過ぎて怒られたり、うまくいかないことの方が多くて大変でした。しかし、練習や話し合いをしていくうちにクラスで「優勝する。」という目標ができて本当に嬉しかったです。練習後はみんなで意見を出したり、リレーの走順や大ムカデのかけ声や速さを変えたりして「優勝できるように」話し合いました。

運動会当日。みんなの気合いは十分で、最初はバラバラだったクラスは円陣を組んで「優勝」を目指しました。リレーではバトンミスや走順を間違うなどアクシデントはありましたが3位になり、大ムカデでは練習では一度もできなかったかけ足で転ばないゴールすることができ、初めての2位でした。総合順位は2位、準優勝でした。表彰台に二人で登ろうねと前田君と約束したのに準優勝だったので前田君しか表彰台にのれません。悔しそうに銀の盾をもらう姿を見て私も悔しくて涙が出てきました。表彰式が終了し、自分の席に戻るときにみんなが「おつかれさま、ありがとう」と言ってくれたので今までのことを思いだしてしまい、私は大泣きしました。

坂口先生が言っていた「勝ち負けの先にあるもの」が3年目にしてやっと分かりました。私は、感動、友情、感謝だと思います。この気持ちを今だけではなく、今後活かしてまたさらに新しいものを見つけようと思います。



『運動会の価値』3年2組 運動会実行委員

「何かこみあげてくるものがあつた。今まで味わったことがない感情だった。」本番の大ムカデが終わったときだった…。僕は1年生の時から運動会実行委員をやっていた。いつかは実行委員長をやりたいと思っていた。3年生になった今、実行委員長になれた。本当に自分はできるのか、とても不安だった。それと同時に、やるぞっという気持ちになり心が燃えた。

いよいよ学年練習が始まった。初めて縄を足につけた。2組は最初、安定していて転ぶ回数もそう多くはなかった。みんなの気持ちはだんだん高くなってきた。しかし、ある事件がたびたびおきた。同じクラスである実行委員の山田さんが怪我をした。運動神経は悪くない方で、むしろ良い方だ。そんな彼女が怪我をして、ダメージは大きかった。それに加えて、朝練習で縄がほどけず練習ができなかった。クラスみんなの不満も高まった。僕は中学校最後の運動会をどうしても勝ちたかった。みんなで話し合いをしたり、声を誰よりも出した。クラスでは悪い雰囲気から抜け出そうとしていた。しかし、その頃3年の実行委員では、練習でしっかりやりきれていない部分もあり、先生に怒られた。もっとみんなに呼びかけていればと悔しかった。何もできない自分に腹が立った。しかし、実行委員のみんなが、励ましてくれた。

本番。2組は今までやってきたことを出しきり、大ムカデは3位だった。なぜだかそんなに悔しくなかった。2組のみんなが立っていた。僕はなぜだか嬉しかった。みんながそこまで本気でやってくれていたのを知って。

「何かこみあげてくるものが・・・」運動会の価値はこういうものだったんだと学んだ。みんなが本気でやれる大切さを知った。なかなかついてきてくれない人もいた。でも、周りにいる人が支えてくれた。感謝であられる運動会だった。

『 運動会での成長 』3年3組 運動会実行委員

中学校生活最後の運動会、結果は3位でした。クラスメイトや先生に申し訳なくて、正直めっちゃめっちゃ悔しいです。でも、綺麗事とかじゃなくて、本当に、間違いなく一番最高の運動会でした。

私は、この運動会でクラスメイトの為に、自分の為に、自分にしか出来ない事なんて無いけど、自分に出来る事は精一杯やったつもりでした。そして、クラスのみならず先生を優勝まで連れて行くつもりでした。中学校生活最後の運動会をまかせてくれて、信じてくれていたのに、本当に申し訳ないと思っています。でも、運動会が終わった後、一番楽しかった、最高だった、3組で良かったなどたくさんのクラスメイトに言われ、やっと本番に至るまでの過程の大切さに気づきました。だけど、友達と4組の前を通った時にたまたま、4組は良いクラスだったから勝てたんです。という言葉が聞こえてしまい、自分は良いクラスを作り上げられていなかったんだなという無力感を感じたとともに、とても悲しくなりました。

私は、小学校の頃サッカーをしていて、最後の試合でみんなに期待されて、信用されて、代表として任されたPKを外してサッカーを辞めました。そして今回の運動会でも、みんなが信じてくれて期待してくれていたのにまたそれに答えられませんでした。また、もう少しで部活動の試合があります。また自分のせいでみんなの最後が終わる気がして、申し訳なくなって、正直出るのが怖いです。

今回の運動会で私は、今書いたような申し訳ない、悔しい、最高、感動、無力感、悲しい、恐怖などの色々な感情を一気に感じる事ができました。だから、この運動会という行事一つだけで、その中で大きく成長できたような気がします。



『 感謝 』3年4組 運動会実行委員

「よし!」。結果を発表された時、きっと4組のみんなはこう思っただろう。自分もその中の一人だ。

実行委員という大きな役割を担っていて、周りの3年の実行委員よりも、経験値は少なく不安や心配が多かった。練習でみんなに色々と言われてきたけど、その中でも支えてくれたクラスメイトがいた。そしてクラスにも段々と一体感が生まれ、みんながみんな優勝しようという気持ちが伝わってきた。

自分は3年連続4組で、大塚や近藤そして田淵といった仲間がいた。ずっと同じクラスだったから特にこの3人には感謝しているし、とても心強かった。ありがとう。自分にとって勝ち負けの先にあるものは、感謝だった。一人でやるのだったらきっと何も生まれない。全員が心を一つにして取り組むからこそ、色々なことを学べるのだと思った。

全員リレー最初は3組と半周差ついてしまった。改良に改良を重ねて何とか3組に後半ついていけるようになった。結果は2位ではあったが、「2位4組」と言われた時の皆のキラキラした笑顔はとても眩しかった。

大ムカデやはりこれも3組の壁に阻止されなかなか勝てていなかったけれど、放課後のあの時間で皆がロープを直しているのを見て、これは優勝しない訳にはいかないと思って更に燃えた。そして、見事こけずに1位を獲れた。

最後に、今日できた運動会これは、地域の方々や先生方などがいて下さったからこそできたものだと思う。年に一度しかないこの運動会を本気で楽しめたと思う。みんな今まで、まとめられないこんな自分のために支えてくれてありがとう。本当に今日はみんなですべての優勝だった。ありがとう。そして、お疲れ様でした。

道徳授業地区公開講座

6月8日（土）に道徳授業地区公開講座が開催されました。

前半は各学年で、担任の先生による道徳の授業が行われました。

1年生は、弁護士の方と『いじめ』について考えました。2年生は、野生動物と人間の関わりを題材に、命の重さ、尊さについて考えました。3年生は、『足袋の季節』という読みものから、良心の呵責の苦しみの中で自分を成長させていく人間の心情について考えました。

後半は、体育館で腰塚勇人（こしづか はやと）さんの講演を拝聴しました。

講演タイトルは、『命の授業 ～ドリー夢メーカーと今を生きる～』。腰塚さんは、中学校の体育の先生でしたが、今から17年前にスキー中に大転倒し、頸椎（首の骨）骨折という大けがをされます。奇跡的に命はとりとめたものの全身が動かない深刻な麻痺状態になりました。絶望的な状況から腰塚さんは、家族、同僚の先生や生徒、病院のお医者さんや看護師さん、そして周りの人たちの応援と励ましによって、奇跡的にも回復に向かい、現在に至っておられます。

命の大切さ、生きていることの素晴らしさ・両親・家族・仲間の大切さなど、普段の生活の中で当たり前と感じ、忘れかけている大切な幸せについて考えることができました。



7月の行事予定

| 日 | 曜 | 行 | 事 | 日 | 曜 | 行 | 事 |
|-------------------------|---|-------------------|---|----|---|----------------|---|
| 1 | 月 | 民生児童委員学校訪問 | | 15 | 月 | | |
| 2 | 火 | | | 16 | 火 | | |
| 3 | 水 | 小中交流会 | | 17 | 水 | | |
| 4 | 木 | 学力向上を図るための調査(2年生) | | 18 | 木 | 大掃除 安全指導 | |
| 5 | 金 | | | 19 | 金 | 小中学校防災の日（避難訓練） | |
| 6 | 土 | | | 20 | 土 | 終業式 | |
| 7 | 日 | | | 21 | 日 | 参議院選学会場 | |
| 8 | 月 | 生徒会朝礼 保護者会(1年) | | 22 | 月 | 面談(全) | |
| 9 | 火 | 保護者会(3年・6組) | | 23 | 火 | 面談(全) | |
| 10 | 水 | | | 24 | 水 | 面談(全) | |
| 11 | 木 | 保護者会(2年) | | 25 | 木 | 面談(全) | |
| 12 | 金 | | | 26 | 金 | 面談(全) | |
| 13 | 土 | | | 27 | 土 | | |
| 14 | 日 | | | 28 | 日 | | |
| 8/27(火)始業式 9/4(水)3年保護者会 | | | | 29 | 月 | | |
| 11(水)集団下校 | | | | 30 | 火 | | |
| 12(木)生徒会立会演説会役員選挙 | | | | 31 | 水 | | |
| 14(土)人生の先輩に学ぶ会 | | | | | | | |

18(水)～20(金) 3days チャレンジ 20(金)～25(水)6組職場実習 22(日)～24(火)3年修学旅行
25(水)3年振替休日

